

中央大学ダイバーシティ推進×ハラスメント防止啓発ウィーク2022
『差別に対抗する「知」特集』

中央大学ダイバーシティ推進×ハラスメント防止啓発ウィーク2022
Chuo Diversity Week 2022
Safe Campus, Safe Space

差別に対抗する 「知」特集

ダイバーシティをより深く知るための
書籍を集めた特別企画です。
差別のない社会は一人ひとりの学びから。
まずは気になる本を見つけて
手に取ってみてください。

お問い合わせ
ダイバーシティセンター 事務室
TEL:042-674-4554
E-mail:dc-soudan-grp@g.chuo-u.ac.jp

A. 障害

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所
1	障害学への招待：社会、文化、ディスアビリティ	石川准、長瀬修編著 明石書店、1999	開架/社会学
2	障害学の主張	石川准、倉本智明編著 明石書店、2002	開架/社会学
3	障害者権利条約の実施：批准後の日本の課題	長瀬修、川島聡編 信山社、2018	中央書架/市ヶ谷 法務
4	障害法	菊池馨実、中川純、川島聡編著 成文堂、2015	開架/市ヶ谷法務
5	社会的包摂と身体：障害者差別禁止法制後の障害定義と異別処遇を巡って	榊原賢二郎著 生活書院、2016	開架/社会学
6	合理的配慮：対話を開く、対話が拓く	川島聡 [ほか] 著 有斐閣、2016	開架
7	詳説障害者雇用促進法：新たな平等社会の実現に向けて 増補補正版	永野仁美、長谷川珠子、富永晃一編 弘文堂、2018	開架/市ヶ谷法務
8	障害者自立支援法とケアの自律：パーソナルアシスタンスとダイレクティブケア	岡部耕典著 明石書店、2006	中央書庫
9	発達保障の道：歴史をつなぐ、社会をつくる	河合隆平著 全国障害者問題研究会出版部、2018	
10	ディスアビリティ・スタディーズ：イギリス障害学概論	コリン・バーンズ、ジェフ・マーサー、トム・シェイクスピア著；杉野昭博、松波めぐみ、山下 幸子訳 明石書店、2004	中央書庫
11	障害の政治：イギリス障害学の原点	マイケル・オリバー著；三島亜紀子 [ほか] 訳 明石書店、2006	中央書庫/社会学

12	差別されてる自覚はあるか：横田弘と青い芝の会「行動綱領」	荒井裕樹著 現代書館、2017	開架
13	障害と文学：「しのため」から「青い芝の会」へ	荒井裕樹著 現代書館、2011	中央書庫
14	障害者殺しの思想 増補新装版	横田弘著 現代書館、2015	開架
15	母よ!殺すな	横塚晃一著 生活書院、2007	開架
16	アイデンティティ・ゲーム：存在証明の社会学	石川准著 新評論、1992	開架
17	人はなぜ認められたいのか：アイデンティティ依存の社会学	石川准著 旬報社、1999	開架
18	障害社会学という視座：社会モデルから社会学的反省へ	榊原賢二郎編著 新曜社、2019	開架/社会学
19	生の技法：家と施設を出て暮らす障害者の社会学 第3版	安積純子 [ほか] 著 生活書院、2012	開架
20	福祉と贈与：全身性障害者・新田勲と介護者たち	深田耕一郎著 生活書院、2013	開架
21	障害学のアイデンティティ—日本における障害者運動の歴史から	堀智久著 生活書院、2014	中央書庫
22	声に出せないあ・か・さ・た・な：世界にたった一つのコミュニケーション	天島大輔著 生活書院、2012	社会学
23	盲ろう者として生きて：指点字によるコミュニケーションの復活と再生	福島智著 明石書店、2011	中央書庫
24	目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗著 光文社、2015	開架
25	カニは横に歩く：自立障害者たちの半世紀	角岡伸彦著 講談社、2010	中央書庫/社会学
26	逝かない身体：ALS的日常生活を生きる（シリーズケアをひらく）	川口有美子著 医学書院、2009	開架
27	不動の身体と息する機械：ALS（シリーズケアをひらく）	立岩真也著 医学書院、2004	中央書庫
28	リハビリの夜（シリーズケアをひらく）	熊谷晋一郎著 医学書院、2009	開架
29	当事者が語る精神障がいとリハビリ	YPS横浜ピアスタッフ協会、蔭山正子編著 明石書店、2018	開架
30	風になる：自閉症の僕が生きていく風景	東田直樹著；ビッグイシュー日本編集部編集 ビッグイシュー日本、2015	開架
31	跳びはねる思考：会話のできない自閉症の僕が考えていること	東田直樹著 イースト・プレス、2014	開架
32	まあ、空気でも吸って：人と社会:人工呼吸器の風がつなぐもの	海老原宏美、海老原けえ子著 現代書館、2015	開架
33	この顔と生きるということ	岩井建樹著 朝日新聞出版、2019	開架
34	私がアルビノについて調べ考えて書いた本——当事者から始める社会学	矢吹康夫著 生活書院、2017	開架
35	18歳のビッグバン：見えない障害を抱えて生きるということ	小林春彦著 あけび書房、2015	開架
36	お月さん、とんでるね：點頭てんかんの娘と共に生きて（銀鈴叢書・ライフデザイン・シリーズ）	夏野いづみ著 銀の鈴社、2011	開架
37	困ってるひと	大野更紗著 ポプラ社、2011	開架
38	ハンセン病者の生活史 隔離経験を生きるということ	坂田勝彦著 青弓社、2012	開架
39	えんとこの歌：寝たきり歌人・遠藤滋（Ise film books）	編集：いせフィルム、遠藤郁美 いせフィルム、2019	
40	コーダの世界：手話の文化と声の文化（シリーズケアをひらく）	澁谷智子著 医学書院、2009	中央書庫
41	良い支援?：知的障害/自閉の人たちの自立生活と支援	寺本晃久 [ほか] 著 生活書院、2008	開架/社会学
42	介助者たちは、どう生きていくのか：障害者の地域自立生活と介助という営み	渡邊琢著 生活書院、2011	中央書庫/社会学
43	被災経験の聴きとりから考える：東日本大震災後の日常生活と公的支援	土屋葉 [ほか] 著 生活書院、2018	開架/社会学
44	はじめての手話：初歩からやさしく学べる手話の本 改訂新版	木村晴美、市田泰弘著 生活書院、2014	開架
45	手話通訳者になろう	木村晴美、岡典栄著 白水社、2019	開架
46	ろう者はストレンジャー（日本手話とろう文化）	木村晴美著 生活書院、2007	中央書庫

47	手話の歴史：ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 上・下	ハーラン・レイン著；齊藤渡訳 築地書館、2018	開架
48	手話を言語と言うのなら	森壮也、佐々木倫子編 ひつじ書房、2016	開架
49	デフ・ヴォイス	丸山正樹著 文藝春秋、2015	
50	家族・支援者のためのガイドブック（精神障がい者の家族への暴力というSOS）	蔭山正子編著；横山恵子〔ほか執筆〕 明石書店、2016	開架
51	『発達障害当事者研究—ゆっくりといていねいにつなりたい（シリーズケアをひらく）』	綾屋 紗月・熊谷 晋一郎著 医学書院、2008	
52	発達障害の素顔（ブルーバックス B-1954）	山口真美著 講談社、2016	開架新書
53	発達障害に気づかない大人たち（祥伝社新書）	星野仁彦著 祥伝社、2010	総合政策
54	発達障害の自分の育て方	岩本友規著 主婦の友社、2016	開架
55	発達障害と呼ばないで（幻冬舎新書）	岡田尊司著 幻冬舎、2012	心理学
56	吃音の世界（光文社新書 986）	菊池良和著 光文社、2019	開架
57	吃音：伝えられないもどかしさ	近藤雄生著 新潮社、2019	開架
58	発達障害の人の内定ハンドブック（発達障害の人の就活ノート）	石井京子、池嶋貫二、佐藤智恵著 弘文堂、2015	
59	発達障害の人の就活ノート	石井京子著 弘文堂、2010	心理学
60	発達障害の人のビジネススキル講座	石井京子、池嶋貫二著 弘文堂、2011	心理学
61	ちょっとしたことでうまくいく発達障害の人が会社の人間関係で困らないための本	對馬陽一郎、安尾真美著 翔泳社、2018	
62	当事者主権（岩波新書）	中西正司、上野千鶴子著 岩波書店、2003	開架新書/社会学
63	障害者のリアル×東大生のリアル	野澤和弘編著；「障害者のリアルに迫る」東大ゼミ著 ぶどう社、2016	開架
64	ユーモアの即興から生まれる表現の創発：発達障害・新喜劇・ノリツッコミ	赤木和重編著 クリエイトかもがわ、2019	
65	セクシュアリティの障害学	倉本智明編著 明石書店、2005	開架
66	手招くフリーク：文化と表現の障害学	倉本智明編著 生活書院、2010	中央書庫/社会学
67	この子は育てにくい、と思っても大丈夫：生まれてきてくれて、ありがとう 子どもに伝えたいあなたのために	星山麻木著 河出書房新社、2017	
68	あん	ドリアン助川著 ポプラ社、2013	開架
69	ろうと手話：やさしい日本語がひらく未来	吉開章著。― 筑摩書房、2021	開架
70	発達障害がある人のナラティブを聴く：「あなた」の物語から学ぶ私たちのあり方	山本智子著。― ミネルヴァ書房、2016.4.	開架

B. ジェンダー・セクシュアリティ

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所
71	ボーイズ：男の子はなぜ「男らしく」育つのか	レイチェル・ギーザ著；冨田直子訳 DU BOOKS；ディスクユニオン（発売）、2019	開架
72	介護する息子たち：男性性の死角とケアのジェンダー分析	平山亮著 勁草書房、2017	開架/社会学
73	ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた：あなたがあなたらしくいられるための29問	一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同著 明石書店、2019	開架/田町国際情報/理開
74	#KuToo（クートゥー）：靴から考える本気のフェミニズム	石川優実著 現代書館、2019	開架
75	戦う姫、働く少女（POSSE叢書 003）	河野真太郎著 堀之内出版、2017	開架
76	私たちの「戦う姫、働く少女」	ジェンダーと労働研究会編；河野真太郎〔ほか〕著 堀之内出版、2019	開架/独文/理工
77	ぼそぼそ声のフェミニズム	栗田隆子著 作品社、2019	開架
78	特集:シモーヌ・ド・ボーヴォワール（シモーヌ：雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック1）	シモーヌ編集部編 現代書館、2019	開架
79	日本のポストフェミニズム：「女子力」とネオリベリズム	菊地夏野著 大月書店、2019	開架

80	クィアと法：性規範の解放/開放のために	綾部 六郎、池田弘乃編著；関修 [ほか] 著 日本評論社、2019	開架/市ヶ谷法務
81	オレは絶対にワタシじゃない：トランスジェンダー逆襲の記	遠藤まめた著 はるか書房、2018	開架
82	13歳から知っておきたいLGBT+	アシュリー・マーデル著、須川綾子訳、ダイヤモンド社、2017年	開架
83	見えない性的指向 アセクシュアルのすべて——誰にも性的魅力を感じない私たちについて	ジュリー・ソンドラ・デッカー著、上田勢子訳、明石書店、2019年	開架
84	Xジェンダーって何?—日本における多様な性のあり方	Lable X編纂、緑風出版、2016年	開架
85	LGBTのひろば ゲイの出会い編	城戸健太郎編、日本評論社、2020年	開架
86	BLの教科書	堀あきこ、守如子編、有斐閣、2020年	
87	レズビアン・アイデンティティーズ	堀江有里著、洛北出版、2015年	
88	LGBTとハラスメント	神谷悠一、松岡宗嗣著、集英社新書、2020年	開架新書/iTL
89	LGBTを読みとく：クィア・スタディーズ入門 (ちくま新書 1242)	森山至貴著 筑摩書房、2017	開架新書
90	自分らしく働く：LGBTの就活・転職の不安が解消する本	星賢人著、翔泳社、2020年	iTL/理開
91	先生と親のためのLGBTガイド：もしあなたがカミングアウトされたなら	遠藤まめた著 合同出版、2016	教育学
92	カミングアウト (朝日新書 666)	砂川秀樹著 朝日新聞出版、2018	開架新書
93	カミングアウト・レターズ	砂川秀樹著 太郎次郎社エディタス、2007	開架
94	アイデンティティ、コミュニティ、スペース(クィア・スタディーズをひらく1)	菊地夏野、堀江有里、飯野由里子編著 晃洋書房、2019	開架/田町国際情報
95	結婚、家族、労働(クィア・スタディーズをひらく2)	菊地夏野、堀江有里、飯野由里子編著。— 晃洋書房、2022	開架/社会学
96	趣味とジェンダー：「手づくり」と「自作」の近代	神野由紀、辻泉、飯田豊編著 青弓社、2019	開架/中央書庫
97	ジェンダー写真論 1991-2017	笠原美智子著 里山社、2018	開架
98	よくわかるスポーツとジェンダー(やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ)	飯田貴子、熊安貴美江、来田享子編著 ミネルヴァ書房、2018	開架/西洋史/社会情報
99	女性・スポーツ大事典：子どもから大人まで課題解決に役立つ	スタウロウスキー編著；宮下充正日本語版監修；井上則子、山田ゆかり監訳 西村書店、2019	参考
100	歴史を変えた50人の女性アスリートたち	レイチェル・イグノトフスキー著 創元社、2019	開架
101	お砂糖とスパイスと爆発的な何か：不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門	北村紗衣著 書肆侃侃房、2019	開架
102	82年生まれ、キム・ジョン	チョ・ナムジュ著；斎藤真理子訳 筑摩書房、2018	開架
103	女になる方法：ロックンロールな13歳のフェミニスト成長記	キャトリン・モラン著；北村紗衣訳 青土社、2018	開架
104	女性のいない民主主義(岩波新書)	前田健太郎著 岩波書店、2019	開架新書
105	自分ひとりの部屋	ヴァージニア・ウルフ著、片山亜紀訳、平凡社ライブラリー、2015年	開架
106	母ふたりで“かぞく”はじめました。	小野春著、講談社、2020年	開架
107	10代から知っておきたいあなたを閉じこめる「ずるい言葉」	森山至貴著、WAVE出版、2020年	
108	福田敬子：女子柔道のパイオニア (DVD)	ユリコ・ガモウ・ロマー監督 パンドラ、2012	
109	花ばあば	クオン・ユンドク 著、桑畑 優香訳 ころから、2018	開架
110	わたしの描きたいこと 絵本作家クオン・ユンドクと『花ばあば』の物語(クオン・ヒョ監督、制作ザ・ビッグ・ピクチャーズ、販売ころから、2012年		

111	痴漢とはなにかー被害と冤罪をめぐる社会学	牧野雅子著、エトセトラブックス、2019年	開架
112	草	キム・ジェンドリ・グムスク著；都築 寿美枝、李吟京訳；ころから、	開架（購入中）
113	ノンバイナリーがわかる本：heでもsheでもない、theyたちのこと	エリス・ヤング著；上田勢子訳。— 明石書店、2021	開架
114	「女子マネ」のエスノグラフィー：大学運動部における男同士の絆と性	関めぐみ著。— 晃洋書房、2018	中央書庫
115	これからの男の子たちへ：「男らしさ」から自由になるためのレッスン	太田啓子著。— 大月書店、2020	開架
116	元女子高生、パパになる	杉山文野著。— 文藝春秋、2020	
117	3人で親になってみた	杉山文野著。— 毎日新聞出版、2021	
118	「非モテ」からはじめる男性学	西井開著。— 集英社、2021	開架新書
119	はじめて学ぶLGBT：基礎からトレンドまで	石田仁著 ナツメ社、2019	開架/社会情
120	LGBTをめぐる法と社会	谷口洋幸編著 日本加除出版、2019	開架

C. グローバル、ダイバーシティ

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所
121	排除と差別の社会学	好井裕明著 有斐閣、2016	開架/教育学
122	「共生」の内実：批判的社会言語学からの問いかけ	植田晃次、山下仁編著 三元社、2006	開架
123	真のダイバーシティをめざして：特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育	ダイアン・J.グッドマン著；田辺希久子訳 Sophia University Press上智大学出版、2017	開架
124	異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる 改訂版	八代京子 [ほか] 著 三修社、2009	開架/社会学
125	多文化社会の「文化」を問う：共生/コミュニティ/メディア	岩淵功一編著 青弓社、2010	開架
126	ろう者から見た「多文化共生」：もうひとつの言語的マイノリティ(シリーズ多文化・多言語主義の現在；5)	佐々木倫子編 ココ出版、2012	中央書庫
127	かかわることば：参加し対話する教育・研究へのいざない	佐藤慎司、佐伯胖編 東京大学出版会、2017	開架
128	教師と人権教育：公正、多様性、グローバルな連帯のために	オードリー・オスラー、ヒュー・スターキー著； 橋崎頼子 [ほか] 訳 明石書店、2018	開架
129	「多文化共生」は可能か：教育における挑戦	馬淵仁編著 勁草書房、2011	開架
130	多文化教育をデザインする：移民時代のモデル構築	松尾知明編著 勁草書房、2013	開架/教育学
131	人間成長を阻害しないことに焦点化する教育学：いま必要な共生教育とは(シリーズ多文化・多言語主義の現在 1)	高橋舞著 ココ出版、2009	
132	多文化社会の偏見・差別—形成のメカニズムと低減のための教育	加賀美 常美代、横田 雅弘、坪井 健、工藤 和宏、異文化間教育学会(企画) (監修)、明石書店、2012	開架/教育学
133	大学における多文化体験学習への挑戦：国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する	村田晶子編著 ナカニシヤ出版、2018	中央書庫
134	ヒューマンライブラリー—多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究	坪井 健、横田 雅弘、工藤 和宏編著、明石書店、2018	開架/社会情報
135	多文化間共修：多様な文化背景をもつ大学生の学び合いを支援する	坂本利子、堀江未来、米澤由香子編著 学文社、2017	開架
136	「正しさ」への問い：批判的社会言語学の試み	野呂香代子、山下仁編著 三元社、2001	開架
137	ことばの「やさしさ」とは何か：批判的社会言語学からのアプローチ	義永美央子、山下仁編 三元社、2015	開架
138	グローバル化と言語政策：サステナブルな共生社会・言語教育の構築に向けて	宮崎里司/杉野俊子 明石書店、2017	開架
139	市民性形成とことばの教育：母語・第二言語・外国語を超えて(リテラシリーズ叢書 6)	細川英雄、尾辻恵美、マルチェッラ・マリオリティ編 くらしお出版、2016	中央書庫
140	事典日本の多言語社会	真田信治、庄司博史編集 岩波書店、2005	参考
141	「やさしい日本語」は何を目指すか：多文化共生社会を実現するために	庵功雄、イヨンスク、森篤嗣編 ココ出版、2013	開架

142	日本語教育学のデザイン：その地と図を描く	神吉宇一編著；名嶋義直 [ほか] 著 凡人社、2015	
143	「多言語社会」という幻想（近代日本言語史再考 / 安田敏朗著 4）	安田敏朗編著 三元社、2011	中央書庫
144	節英のすすめ：脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギ!	木村護郎クリストフ編著 萬書房、2016	開架
145	外国人とのコミュニケーション（岩波新書）	J・V・ネウストプニー著 岩波書店、1982	開架新書
146	ディアスポラ紀行—追放された者のまなざし	徐京植著 岩波書店、2005	開架新書
147	在日外国人（第三版）—法の壁、心の壁	田中宏著 岩波新書、2013年	開架新書
148	『家族写真をめぐる私たちの歴史：在日朝鮮人・被差別部落・アイヌ・沖縄・外国人女性』	皇甫 康子（責任編集）・ミリネ（編）御茶の水書房、2016	開架
149	在日詩集 詩碑	丁章著、新幹社、2016	開架
150	前夜	黄英治著、コールサク社、2015	開架
151	モスクへおいでよ	瀧井宏臣著 小峰書店、2018	
152	慈悲深き神の食卓：イスラムを「食」からみる	八木久美子著 東京外国語大学出版会、2015	開架
153	Q&Aハラルを知る101問：ムスリムおもてなしガイド	福島康博著 解放出版社、2018	開架
154	多文化社会で多様性を考えるワークブック	有田佳代子、志賀玲子、渋谷実希編著 研究社、2018	開架
155	五つ数えれば三日月が	李琴峰著 文藝春秋、2019	開架
156	独り舞	李琴峰著 講談社、2018	開架
157	『「国語」から旅立って（よりみちパン! セ）』	温又柔著 新曜社、2019	開架
158	世界の難民をたすける30の方法	滝澤三郎編著 合同出版、2018	開架
159	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ著 新潮社、2019	開架
160	明日の子供たち	有川浩著 幻冬舎、2014	開架
161	やさしい日本語：多文化共生社会へ	庵功雄著。-- 岩波書店、2016	開架新書

D. ダイバーシティウィークイベント関連図書

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所
162	クィア・シネマ・スタディーズ	菅野優香（編著）晃洋書房、2021	ダイバーシティスクエア
163	朝鮮籍とは何か	李里香著 明石書店、2021	ダイバーシティスクエア
164	トランスジェンダー問題—議論は正義のために—	ショーン・フェイ 著、高井ゆと里 訳、清水晶子 解説 明石書店、2022	
165	ポリリカル・コネクテネスからどこへ—「正しさ」をなぜ問題にするのか?—	清水晶子、ハントンヒョン、飯野由里子著 有斐閣、2022	
166	ユニバーサルデザインの基礎と実践 —ひとの感覚から空間デザインを考える	(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会 (著、編集)、原 利明 (著)、伊藤 納奈 (著、編集)、太田 篤史 (著、編集)、船場 ひさお (著、編集)、松田 雄二 (著、編集)、矢野 喜正 (著、編集)、原 利明 (編集) 鹿島出版会、2020	
167	集まる場所が必要だ—孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学—	エリック・クリネンバーグ著、藤原朝子訳 英治出版、2021	
168	言葉の展望台	三木那由他著 講談社、2022	
169	難民とセクシュアリティ—アメリカにおける性的マイノリティの包摂と排除—	工藤晴子著 明石書店、2022	
170	社会運動の戸惑い—フェミニズムの「失われた時代」と草の根保守運動—	山口智美、斉藤正美、荻上チキ著 勁草書房、2012	

中央大学ダイバーシティ推進 × ハラスメント防止啓発ウィーク 2022

Chuo Diversity Week 2022

Safe Campus, Safe Space



対面(多摩キャンパス)・オンライン・ハイブリッド開催 **11/11(金) - 11/21(月)**

今年のテーマは「Safe Campus, Safe Space」。一人ひとりが安心して過ごせる場所、お互いを尊重しながら学び成長できるキャンパスは、どうしたら実現できるでしょうか。イベントに参加し多様な人と会うところから始めてみませんか？

特別企画 徹底解説!「教職員のためのジェンダー・セクシュアリティに関するガイドブック(配慮と対応)」

動画配信 11月1日(火)~3月31日(金)

おはなし会 **オンライン** 11月15日(火)、11月17日(木) 12:30~13:30

おはなし会 **対面** 11月11日(金)、11月21日(月) 12:30~13:30



場所: FOREST GATEWAY 2F ダイバーシティスクエア
対象: 教職員
講師: 小川奈津己、三宅大二郎
(ジェンダー・セクシュアリティ領域コーディネーター)

11/14(月) 1部:12:40~13:10 **ハイブリッド**
2部:13:10~14:10 **対面**

身近な人間関係に潜む暴力と警戒すべきサインを知ろう!

場所: FOREST GATEWAY F605教室
対象: 学生、教職員
講師: NPO法人女性ネット Saya-Saya
共催・協力: ハラスメント防止啓発委員会、学生部

要申し込み 

11/10(木)まで

11/14(月) 映画上映:13:20~17:00~
トーク:15:10~ **対面**
(上映会のみ、トークのみの参加も歓迎です)

映画『FLEE フリー』上映会・スペシャルトーク

場所: グローバル館 7Fホール
対象: 定員: 学生、教職員、卒業生、一般(定員80名)
登壇者: 秋田祥(ノーマルスクリーン)

要申し込み 

11/13(日) 正午まで

11/17(木) 17:00~18:40 **対面**

なぜ大学生の私が立ち上がったのか

場所: グローバル館 7Fホール
対象・定員: 学生、教職員、卒業生、一般(定員80名)
登壇者: トミー長谷川(Moving Beyond Hate 代表)、朴泰佑(中央大学文学部2年)
協力: 大田美和(中央大学文学部教授)、Diversity Creator Team
司会: 李里花(中央大学総合政策学部教授)

要申し込み 

11/16(水) 正午まで

11/17(木) 15:10~16:50 **対面**

学部留学生 × ダイバーシティ

場所: FOREST GATEWAY F603教室
対象: 学生
定員: 20名
企画: 学部留学生 中川康弘(中央大学経済学部准教授)、田中正江(中央大学兼任講師)、二宮理佳(中央大学商学部教授)、吉田千春(中央大学法学部助教)

要申し込み 

11/16(水) 正午まで

11/18(金) 10:50~12:30 **ハイブリッド**

ユニバーサルデザイン・バリアフリーマップの設計思想と建築計画

場所: FOREST GATEWAY 3Fホール
対象: 学生、教職員、卒業生、一般
講師: 松田雄二(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授)
司会: 天田城介(中央大学文学部教授)

要申し込み 

11/17(木) 正午まで

11/19(土) 10:00~12:00 **オンライン**

Safe Space, Safe Home, Safe []

対象・定員: 生徒、学生、教職員、卒業生、一般(定員 100名)
登壇者: 杉山文野(特定非営利活動法人東京レインボープライド代表)
司会: 岡野めぐみ(白門一新会)
共催・協力: 白門一新会、mimosa

要申し込み 

11/18(金) 正午まで

11/21(月) 12:40~13:10 **ハイブリッド**

犯罪被害防止講習「それで大丈夫!? DV、痴漢、ストーカー対策」

場所: FOREST GATEWAY F605教室
対象: 学生、教職員
講師: 森山奈央美(東京都民安全推進部)
共催・協力: 東京都民安全推進部、ハラスメント防止啓発委員会、学生部

要申し込み 

11/17(木)まで

11/21(月) 17:00~18:30 **対面**

ストリートハラスメントにみんなで立ち向かうためのトレーニング

場所: FOREST GATEWAY F511教室
対象: 定員: 学生、教職員(定員30名)
講師: 小野関友佳(中央大学理工学部4年)、佐藤大斗(中央大学理工学部4年)
共催・協力: Get Up Japan (一般社団法人 Voice Up Japan)

要申し込み 

11/20(日) 正午まで

11/11(金)~11/21(月)

「トランスジェンダーのリアル」展

場所: 図書館 1F 展示スペース
対象: 学生、教職員、卒業生、一般
協力: 「トランスジェンダーのリアル」製作チーム、中央図書館

11/11(金)~11/21(月)

差別に対抗する「知」特集

場所: 図書館 2F 展示スペース
対象: 学生、教職員、卒業生
協力: 中央図書館



情報保障が必要な方は各申し込み期限の1週間前までにダイバーシティセンター事務局へご連絡ください。

主催
中央大学ダイバーシティセンター
中央大学ハラスメント防止啓発委員会

お問い合わせ先
中央大学ダイバーシティセンター事務局
TEL: 042-674-4554
E-mail: dc-soudan-grp@g.chuo-u.ac.jp

中央大学ハラスメント防止啓発支援室
TEL: 042-674-3507
E-mail: harass-jim-grp@g.chuo-u.ac.jp

行動する知性。
中央大学

Say NO to Harassment
Chuo University